

八戸工業大学アセスメント・ポリシー

制定 平成 30 年 9 月 27 日 教授会

八戸工業大学は、学生の学修成果、教員の教育成果を可視化し、学生が修得した能力、教育課程の適切性、大学の教育力を評価し、教育改善を恒常的に実施する目的で、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つのポリシーに則した独自の評価指標に基づき、学生の学修成果を測定・評価することとする。測定・評価については、学生の入学時から卒業時までを視野に入れ、機関（大学）レベル、教育課程（学部・学科）レベル、科目（個々の授業）レベルの3つのレベルにおいて、多面的に行うこととし、その評価指標を、各時点・各レベルに対して次のように定める。

レベル		入学時	在学中	卒業時
機関レベル (大学)	直接指標	・各種入学試験	・休退学状況（休退学率）	・卒業率 ・学位授与数 ・就職率
	間接指標	・入学時満足度調査（学生生活意識調査）	・満足度調査（学生生活意識調査・満足度アンケート） ・学修習慣実態調査（学生生活意識調査）	・卒業時満足度調査（満足度アンケート）
教育課程レベル (学部・学科)	直接指標	・各種入学試験	・GPA ・進級率 ・ラーニング・ポートフォリオ	・GPA ・資格・免許取得状況 ・単位修得状況
	間接指標	・入学時満足度調査（学生生活意識調査）	・達成度評価アンケート（20 修得因子）	・卒業時満足度調査（満足度アンケート）
科目レベル (個々の授業)	直接指標	・開講試験（国語・英語・数学*・物理*・化学*） *：工学部のみ	・成績評価（テスト、ルーブリック）	
	間接指標		・達成度評価アンケート（20 修得因子） ・授業評価アンケート（前後期）	

【データの収集と分析、検証・改善等の実施体制】

上記データの収集、調査検討は、アドミッション・オフィス、学務部各委員会、IR 委員会が行う。各種調査結果は、アドミッション・オフィス、教育改革専門委員会、IR 委員会等が分析の上、入試委員会、教育改革委員会、自己点検・評価委員会等に報告され、検証が行われる。各学科・部署は、これらの調査、検証結果に基づいて、教育改善計画を策定し、教育改善を実施する。